

誰もが安心  
して暮らせ  
る町づくり  
をめざして

名北福祉会 広報誌

2026 5 MAY No.69

# みんなの夢

2026年5月1日発行（年3回）

発行所／社会福祉法人名北福祉会

発行人／佐藤悦弘

〒462-0804 名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL:052-910-3066 FAX:912-5188 HP:<http://meihoku-fukushi.org/>

新年度になりました 各施設の様子を紹介します！



## 高齢部 暮らしのようす



# 高齢部

## グループホームめいほく

### 太鼓の演奏ありがとう！

耕座（太鼓）のイベントを楽しみにしている利用者さんが多い中、39周年イベントへご招待いただきましたが、参加できる人数に限りがあり、皆で行けないことを残念に感じていました。そんな中、耕座のご厚意により、施設でイベン



トを開催していただけることになりました。当日は地域の方々とのつながりも感じられ、利用者さんに加え隣接する保育園の園児や地域の皆さんにもご参加いただき、笑顔あふれる温かなひとときとなりました。太鼓の迫力ある演奏に心躍り、世代を超えた交流が生まれる、思い出深い一日となりました。

## デイサービス町南

### 楽しいお出かけ

デイサービス町南では、毎日の様にお出かけをしています。外出を楽しみにされている利用者さんが多く、とても喜ばれています。最近、梅や桜を見るお出かけが続きました。「すごく綺麗ね!!」「私まだ今年桜見れていなかったから嬉しかった!」と皆さん喜んでみえました。



外出をする事で季節を感じたり、外の空気に触れたりすることを大切にしています。

「昔ここに映画館があったんだよ」などの昔の話も盛り上がり、皆さんイキイキされています。外出した時ならではの利用者さん同士のコミュニケーションも楽しい時間です。

## めいほく町南の家

### みんなで作るカレンダーづくり

開所から毎月、カレンダー作りをしています。職員が、下書きをし、利用者さんが、色紙をちぎって貼ったり、立体感が出る様、本物の葉っぱや花、綿等を貼り付けたりしています。

最初は、「これ何の絵?何の形?」の不安な声もあつたりしますが、「こつした方がいいんじゃない?」と、利用者さんから、アイデアがいろいろです。思い描



コサージュづくりや飾り付けに折り紙でチューリップや桜の木づくりを利用者さんと準備しました。

めいほくの家とグループホームめいほく合同で、めいほく保育園卒園児を招いて「卒園を祝う会」を開きました。開所年度から今回3回目のイベントです。

## 園児の笑顔はみんなの笑顔

### めいほくの家



いていたよりも、豪華で素敵な工夫満載の作品が出来上がります。今では、壁に貼ってあるカレンダーは無くてはならないものとなり欠かせない大切な取り組みです。

当日は、利用者さんが卒園児にコサージュを付けてあげました。ふらつとるーむに音楽と共に卒園児が入場すると、利用者さんの顔が笑顔になり手拍子になりました。卒園児の歌やダンスと一緒に体を動かしたり口ずさんだり、プレゼントを手渡したりと、楽しい時間になりました。



## 「介護保険制度の抜本改善」の署名ありがとうございました。

介護現場においては常に多くの課題が山積しています。特に人手不足の問題は深刻です。介護現場のスタッフ一人ひとりが感じる負担の重さは、計り知れないものがあります。介護利用料の負担が重く必要な介護サービスが受けられない、基本報酬の引き下げの影響で事業撤退相次いでいます。

介護職員の大幅な賃金の引上げ、介護保険制度改善、憲法25条に基づいたケアが大切にされる社会の実現にむけ、今後ともよろしくお願い致します。

## 「きょうされん第49次国会請願署名」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

皆さまの温かいお気持ちが、障害のある人たちの暮らしを支える大きな力になっています。今回の請願では、障害年金の増額や、暮らしの場・ヘルパー制度の充実、福祉で働く職員の処遇改善、障害福祉や補装具にかかる自己負担の廃止、65歳以降も安心して支援を受けられる仕組みづくり、そして地域活動支援センターの安定した運営など、障害のある人たちが地域で自分らしく生きるために欠かせない6つの実現を求めています。

これらが一つひとつ実現するまでには、まだまだ皆さまのお力が必要です。これからも、ぜひ一緒にこの思いを広げていただけたら嬉しいです。どうぞよろしく願いいたします。



# 障がい部



## のびのびクラブ

放課後は、ここから始まる！

毎日朝から学校に通い、楽しみながらも授業や作業などをとても頑張っている子どもたち。ときどき「あ〜疲れた〜」なんて声も聞こえています。そんな中、みんなで集まってゴロンと横になったり、戦いごっこをして一致団結してみたり、話をしながらのんびりおやつを食べたり……思い思いに過ごしています。晴れた日にはお散歩にも行っていますが、のびのびクラブの近くの坂道を思い切り走っ



て風を感じることもあります。それを見て「楽しそう！」と自然とお友だちを追いかけて一緒に走る姿も見られました。学校や学年の違う子どもたちがいつの間にか仲良くなっていたりもします。明日へつながる余暇の時間を、大切に過ごしていけたらと思います。

## のびっこ

『できた！が積み重なる毎日』

公園でのエピソードです。一人の小学生の子が「あっ、同じ学校の子たちだ。楽しそう……」みんなまで鬼ごっこをしている様子をと見つけています。「一緒にやりたいな」そこで職員が「いーれーてー」を一緒に言おうかと聞くと、「恥ずかしいな、入れてくれるかな？」と不安そう。緊張しながらも職員と一緒に声をかけてみると……「〇〇小学校の〇〇くん



じゃん！」と、快く仲間に入れてもらうことに！今までの不安がうそのように、心から楽しんでいる姿がありました。しばらくは職員を支えに「いーれーてー」をしていましたが、今では自分から声をかけて遊びの輪に入ったり、お使いでお店の人に売り場を聞いたり、「できた！」の経験が自信につながっています。

## めいほく共同作業所

技術を、未来へつなぐ

めいほく共同作業所では、パンとクッキーを作っています。

パンは40種類、クッキーは14種類あります。パンは天然酵母を使

っているので、発酵などは職員が管理していますが、パンの形を作る作業は仲間と一緒に進めています。クッキーの作業は何十年も続けている仲間がほとんどで、大ベテランです。グラムを計ったり、型抜きをしたり、袋詰めをしたりと、集中して製造することができません。半日で一〇〇個以上のクッキーを作ることもできます。天然酵母は「生きた菌」なので毎回出来上がりが微妙に変わります。触り心地や見た目で判断しながら、その時のベストな状態でパンを完成させます。何十年も変わらぬ味を守り続けながら、今後も仲間とともに、安心・安全・おいしいパンとクッキーを作り続けていきます。



めいほく友の家

なんか元気になる

友の家では、誰もが主役になれることを大切にしています。

1階では、自分たちで育てた野菜や果物を「くすのつちいちば」や「とものお店」で販売。地域の方との交流を通じて「かわりや喜ばれる幸せ」を肌で感じ、仲間への表情はうれしそうです。

2階・3階のスポーツをする時熱が入ります。ボウリングで次の人へハイタッチしながら順番をつなげたり、ボッチャの好プレーに敵味方関係なく全員で歓声を上げたりと、フロア全体が最高の一体感



感が持てます。

「外への一歩」が自信になり、仲間との「感情の共有」が明日への楽しみになる。友の家がこれからも、いろいろな方とつながり一人一人がその人らしく過ごせる場所にしていきたいと考えています。

わくわく安井の家

仲間がいるから、もっと楽しい

わくわく安井の家では、普段2階と3階に分かれて活動していますが、みんなで盛り上がる活動もあります。その一つが「成人式」です。

仲間になんかことをするかを丁寧に説明し、見通しを持ってもらうため、活動の中で何度も練習を重ねます。そして、本番当日。歌の中で合の手を入れて盛り上げてくれる仲間、自分の役割を全うしてくれる仲間、主役をたてて控えてくれる仲間……みんな力を合わせて、20歳になる仲間をお祝いしました。2026年度は新しい仲間も迎え、新たな風



が吹く中でこんなことができるか、仲間と丁寧に話し合いながら進めていきたいと思えます。

めいほく鳩岡の家

自分のペースで、自分の道を

仲間の高齢化が進む中、鳩岡の家では作業中心の支援から、生活を支える関わりへと少しずつ軸足を移しています。しかし、それは「仕事からの卒業」を意味するものではありません。長年働くことで自分の生活を築いてきた仲間にとって、「働くこと」は今も大切

な営みです。通所時にはユニフォームに着替え、仲間と顔を合わせる時間を大切にしながら、その日の体調や気持ちに応じてゆったり過ごせる場へとつながります。散歩や買い出しにも役割を持って参加してもらい、一人ひとりのペースを尊重した支援を重ねています。高齢になっても「鳩岡に通いたい」という思いに答え続けること、それが私たちの願いです。



友の家ホーム

一緒に暮らし、気づいたこと

ホームでは、自分の時間を過ごしたい方はお部屋へ、仲間や職員と一緒に過ごしたい方はリビングにいます。でも、完全に一人がいないという姿はあまり見られませんが、夕食時のテレビ番組を相談したり、譲り合ったり、順番を決めたりする姿があります。自分の部屋にいてもリビングが気になって熱いまぎしを向けていたり、ふ



らっと出てきたりすることもあります。「何してるの？何話してるの？何してるの？」という問いかけに、「これいいよー面白いよー！一緒にする？」というやりとりが生まれることも。そんな仲間同士のコミュニケーションを見ると、支援者はほっこりします。そんな場面がたくさんあるといいなと思います。

町北ホーム

ひとりひとりの「好き」を大切に

何かを「好き」という気持ち……。自分の部屋を好きなものに囲まれたお気に入りの空間にしている仲間、お箸やマグカップを好みの色やお気に入りのキャラクターのものにしている仲間、歌が好きで気の合う仲間と一緒に楽しんでいるときともうれしそうにしている仲間、リビングのソファでゆったりくつろいで過ごすことが好きな仲間、お風呂の湯船にのんびりつかって気持ちよさそうな仲間……。好きなもの、好きなこと、



好きな時間、好きな人、自分の「好き」が詰まった暮らし方は、毎日の生活をリラックスして安心できるものにしてくれます。それはみんな同じですね。

めいほくホーム

わたしが、この一員だから

めいほくホームでは、「ともにつくる暮らし」という思いを大切にしています。夕食の準備も、仲間たちが主役です。食材を並べ、盛り付けを手伝い、「これでい

い？」と顔を見合わせる。その何気ないやりとりの中に、ここでの暮らしの豊かさがあります。誰かの役に立てること、自分にできることがあること。それが自信となり、毎日の生活に張り合いをもたらしています。時には、役割の取り合いになったりすることもありますが・・・そんなにぎやかな日常も、めいほくホームらしい日々のひとコマです。2026年度も、一人ひとりが「ここにいてよかった」と感じられる場面を積み重ねながら、仲間と職員がともに暮らしをつくっていきけるホームを目指してまいります。



# 地域生活部

ヘルパーステーションそら

利用者の「安心」と「笑顔」が増す支援提供

名北の理念である「平和・住みよい街づくり・福祉の充実」を掲げて職員一同が成長できる年度を目指します。研修を増やし、質の高い介護・支援を提供することで利用者の「安心」と「笑顔」が増すよう努めます。また、今年度は、第5次中期計画（2022）



「いつもありがとう」「93歳お一人暮らし」



支援のひとつ

2026)の最終年度。ヘルパー人材確保・定着、事業の経営・運営の改善、地域課題に向けた連携の強化など計画目標達成・未達成途中・課題などを精査していきます。「質の高いサービス提供、ヘルパーの専門性」など良い事業所として認知され、地域社会に深く根ざし、きめ細やかなサポートに努めていきます。



## 相談支援センターめいほく

ご本人にとって最善の利益につながる支援追及

昨年度からの社会状況（物価高騰、介護・支援スタッフ人材不足、災害ほか）により、当たり前前に暮らしていくことの困難さが増している状況です。ご本人支援を中心に置き、人権、権利擁護、意思決定支援に照らして引き続き努めていきます。生き方や希望など尊重し、ご家族等の想いをくみとり、ご本人にとって最善の利益につながるよう、医療や福祉、行政など多職種と連携しながら支援を心がけていきます。他方、事業所の経営・運営・人材確保について事業方針、計画に沿って進めていきます。

## 居宅介護支援事業所

### ケアプラン町南

ケアプランの職員でお花見

桜が咲き、お弁当を少し豪華にして矢田川の河川敷にケアプラン



町南の職員7人でお花見に行きました。毎日忙しく働いている職員ですが、ほんのひと時楽しい時間を過ごしました。

「花散りて一期一会を振り返る」職員の一ひとは、70歳を超えて年齢はただの背番号と強がっていたものの自転車に乗ることも、車の運転もなかなかしんどくなってきた今日この頃のことですが体調に気を付けてもう少し頑張りますと心強い言葉です。

ケアマネは大変と何故か世間の人たちに思われています。でも、たくさんの人に会えて楽しいこともある仕事です。新しい仲間が増えるように頑張ります。

# 保育部



## めいほく保育園

### 卒園児のリクエストメニュー

巣立ちの季節を迎え、卒園児のぞう組さんに保育園の給食を食べてもらえる日も残りわずかです。3月、もう一度好きな給食を食べ、卒園してほしいという思いから、ぞう組さんのリクエストメニューを取り入れて、親も職員も楽しみにしてくれています。今年も自分のリクエストメニューの日がいつ



か分かるように、リクエストカレンダーを作りました。食べている様子を保育室に見に行くと、「今日は○○ちゃんのリクエストの日だね！おいしいね。」と自分の好きなものをこえて、ずっと一緒に大きくなってきた友達の好きなものをみんなで楽しんでいました。その姿に心が温まりました。素敵な仲間ができてよかったね。卒園おめでとう！

## 第二めいほく保育園

### おめでとうおにぎりパーティー

3月の卒園をひかえ、子どもたちは保護者から「大きい保育園に行く」という話を聞いて、二歳児なりに期待している様子がかがえます。そんな中1・2歳児の「きりんのおへや」の子どもたちは、自分でおにぎりを作って食べる、おにぎりパーティーを行います。



まずは先生から「大きくなるっていうことは」の絵本を読んでもらいました。好きな色の紙コップを選び、ご飯を入れてもらった後、おかか、こんぶ、ゆかりの中から好きなふりかけを選びました。もちろん全部でもOKです。コップをフリフリしたら完成。たくさん食べました。

大きくなることを喜び合える、好きなものを選ぶことができる、そんな当たり前の社会が「どの国のどの子にも」と願います。

## めだか保育園

### 小学校卒業おめでとう！

卒園から早6年。春の訪れと共に、小学校卒業という晴の日を迎え、めだか保育園に顔を出してくれました。スーツ姿や袴姿の卒業生が恥ずかしがりながらも、懐かしのお部屋に入ると、先生達に「こんなに素敵になって…びっくり！」と声をかけてもらい、在園児もキラキラした目で見つめます。「お姉ちゃん達ね、小学校の卒業式だったんだって。」と話すと「おめでとう〜！」「かわいい！」と





冬になると、年長児が「ちびっこ先生」として乳児の部屋で過ごす時間をもっています。部屋に入つてすぐは緊張している様子ですが、小さい子たちと一緒に遊んでいるうちにだんだんと表情が和らいでいき、「ちいさい

なえしろ保育園

ちびっこ先生

子ども達。ニヤリと照れる姿にはまだ当時のあどけなさも残り、一緒に来てくれた母達も職員も子ども達の成長にウルツと涙が溢れました。いよいよ中学生。大きく羽ばたいてほしいです。いつでも、保育園に遊びに来てね。

・・・「かわいい」とほっこりする姿があります。小さい子たちから「えほんよんで」おやつ前 hands を拭いてほしい」と頼られると「え〜…いいよ」となんだか照れくさそうになながらも相手の様子に合わせて優しくかわる姿があります。その中で、自分が大きくなったことを感じたり、ほっとできる時間を重ねてきました。経験を通し大事にされ育ってきたことも感じられる機会になると良いなと思います。

やだ保育園

作品展でお店屋さん

子どもたちが日々の暮らしの中で作ってきた製作や絵などを飾る作品展を行いました。

みんなが見ることができるよう、会場は玄関です。「おひなさま」「とんぼのおへや」「ばったのおへや」「ちようちよのおへや」と順番に、日にちを区切って玄関と絵本コーナー一面に子どもたちの作品を飾りました。ひとりひとりは



もちろん、異年齢の暮らしの中で、それぞれができること、アイデアを出しあい、協力して作った作品もたくさん。その中のひとつ、「ちようちよのおへやのお店屋さん」では回転寿司やジュース、アイスクリームが玄関を彩りました。作品展の間、おへやをこえて子どもたちがわかるがわるお店屋さんになり、お客さんになり、自分たちで作ったお店屋さんをめいっぱい楽しみました。

めいほくつぼみ保育室

お山すべりだいに挑戦!

富士山公園の前を通るたびに「お山だー!」「行ってみたいね」と話していたつぼみ子どもたち



ち。後半期の2・3月はたくさん富士山公園に行き、お山のプレイマントに挑戦することができました。初めは「せんせい、こわいよー」と山の途中で登るのをやめる子どもたちでしたが、何度も保育者と一緒に登りきる経験をしてから、自信を持ち始め、3月には自分たちだけで登れるようになりました。2歳児さんは1歳児さんが登る後ろから「あしこごだよ!」と教えたり、「一緒に行く?」と優しく声を掛けたりする姿もあり、異年齢ならではのやり取りがたくさんみられました。

くさのみ保育所

みんなで遊んだ恐竜ごっこ

恐竜好きな3歳児が、凶鑑を見ながら2歳児に名前や特徴を説明したことを機に恐竜ブームが巻き起こりました。子ども達は洗濯ばさみを角に見立てて服や髪に挟んで「チクチクだよ」「トリケラトプスだよ」変身したり、公園で尖った石を見つけると「爪かな?」「歯かな?」とイメージを膨らませ目を輝かせて化石探しをしました。また地面の穴を見つけると凶鑑で見た隕石と結びつけ「隕石が落ちたんじゃない?」と発想を広げる姿からはワクワクする探



究心が伝わってきました。

3月の「大きくなったお祝い会」では保護者も一緒に恐竜ごっこを楽しみ大変盛り上がりました。恐竜という共通の興味を通じて子ども達の成長と豊かな感性を改めて実感することができました。

くさのみ保育所

運営委託についてのご報告

くさのみ保育所は3年ごとに運営委託先の見直しで運営してきました。

2月に行われた入札の結果、残念ですが2026年10月より委託先が他の事業者に変更となることが決定しました。

2011年から15年間の運営を担ってきた名北福祉会ですが、今後は、委託先変更之际、子ども達や保護者の皆様が引き続き安心して利用できるよう、現在、職員の継続雇用について打合せと調整を進めています。残り半年弱となりますが、職員一同最後まで名北福祉会の一員として精一杯取り組んでいきます。

地域の子育てを応援します

子育ての拠り所一時保育

めいほく保育園

未就園の子どもを育てている地域の家庭に向けて、名古屋市の制度に基づき、一時保育を行っています。

非定型保育、緊急保育、リフレッシュ保育の3形態です。近年は、1歳児から保育園に預ける家庭も増えてきていますが、核家族の影響もあり、母親一人で子



育てを担う家庭も少なくありません。そのため、子育ての拠り所としてリフレッシュ保育を利用する家庭も多く見られます。

支援センターのフリースペースにあそびに來たり、一時保育をくり返し利用する中で、子どもが好きな遊びを見つげたり、友だちと関わりながら過ごす姿も見られます。また、給食では、家庭では食べ慣れないメニューでも、友だちが食べている様子に興味を持ち、「たべてみよう」とする姿が見られるなど、食の広がりにもつながっています。

おともだちでできたよ

地域を支える一時保育

めだか保育園

めだか保育園の一時保育は、毎日6名の子をお預かりしています。日々、登園してくる子は違いますが、保育の中で、一人ひとりに寄り添い、遊びを通してお友達



をつなげ、笑顔いっぱいまで過ごせることを大切にしています。非定型や緊急で利用する子は定期的に続けて利用するので、仲良しになった小さい子の頭を優しくなでてあげたり、「今日は〇〇ちゃんいるかな?」とお母さんと話しながら登園したり、一時保育に来て友達や先生と遊ぶことが楽しみになっています。保護者同士も登降園の際に顔見知りとなり、子育て支援拠点の『めだかひろば』と一緒に遊びに来る姿もみられます。今後も地域のニーズに応え、子どもも大人も繋がり合える子育て支援ができれば…と感じています。



## 子育て支援センターなえしろ

「きてよかった」  
なえっこひろば

新年度になり問い合わせも多くなり、また新たな出会いに心躍る思いでいます。

最近、初めて遊びに来られたお母さんから、遠慮がちに「なかなかこういう場所に来る勇氣がなかったけど思い切ってきてよかったです。」といってもらえることがありました。

お子さんの様子を心配されていたようで、迷惑がかかると思ってた



連れて来られなかったようでした。イベントをきっかけに思い切って遊びに見え、今は一時保育も活用されています。

他にも、「お母さん同士でおしゃべりすることがリフレッシュになっている」と言われるお母さんもみえて、お母さんが楽しく遊ぶ場だけでなく、お母さんの息抜き場としても来られていることを毎日実感しています。

## 子育て支援拠点やだっこひろば

### 東区の子育てを応援

やだ保育園では、地域子育て支援拠点「やだっこひろば」を開設しています。初めての子育て、ひとりひとり違う子どもの姿、どうやって関わっていけばいいのか…。子育てに正解はないからこそ、悩みは尽きません。

やだっこひろばでは、同じ悩みを話し合ったり、おすすめの情報を語りあったり、子育てとは関係ない話もおしゃべりしながらお互いに支えあい、応援しあえる場所を目指しています。そんな場所が



地域の中にたくさんあれば、保育園内だけではなく地域のコミュニティセンターを借りた「砂田橋ーむ」も出張開催しています。今年度からはさらに大幸幼稚園の一室を借りて新しい「るーむ」も開きます。これからも、地域の中で、子育ての大変さや楽しさを、共にわかちあっていきたいと思っています。



**新任職員研修が  
行われました!**

どの分野でも人材不足が叫ばれています。中でも保育・福祉の分野は特に人材が不足していると言われています。そんな中、3月7日(土)、法人の新任職員研修が行われました。今年度は保育12名、障がい4名、高齢分野1名合計17名と、たくさんの受講がありました。



60年の歴史をダイジェストでたり、「ひとりぼっちをつくらない地域」「誰もが住みよい街づくり」をめざしている法人の姿を共有しました。限られた時間の中で保育・障がい・高齢・地域生活の各分野から、担当者が熱く語る姿もありました。就業規則、社会人としてのマナーなど社会人としての講座もあります。そして毎回新鮮なのが、各分野の「先輩職員からのエピソード」のコーナーです。仕事のやりがい、これから目指していきたいことがストレートに語られます。

最後のグループワークは、2グループに分かれて、「いまハマっていること」(アイスブレイク)で一気に和んで、「どんな職員になりたいか」などフレッシュな気

持ちを交わしました。

これからの、みなさんの活躍を心より期待しています。ともにがんばりましょう。

**感想より**

●各分野で大切にされている事があり、それでも全体で共通する点として、どれだけ相手を想い、考え、接しているということを学んだ。

●ますます不安定で見通しのきかない時代だと思えます。法人の歴史を振り返ることや現在の活動を共にすることは自分自身の生きる力になるな、と思いました。

●どの先輩方もはじめから上手くいっていただけではなく、分からないことがある度その都度質問したり試行錯誤することで、成長されてきたんだと分かりました。

●より良くするために運動を行っていたり、地域の方との関わりを大切に取り組みをされていることを強く感じました。

**障害部ハンドブック研修**

障がい部には、障がいのある方を支援する上で大切なことをまとめたハンドブックがあります。ハンドブックが出来てもう8年。社会人としての接遇マナーから始まり法人の歴史・理念、国連の障害者権利条約やきょうさん運動、障がい福祉の制度から現場実践、家族との関りや事故防止虐待防止、ハラメント学習に至るまで全部で10の章に分かれています

毎年、このハンドブックを使って、章ごとに施設長が講師になって研修を行います。昨年度入職した正規・契約職員は8期生として、月一回集まり、10カ月かけて学んでいます。「今までと別の見方ができるようになった」の声や、講師からも、「学び直しの機会になっている」との感想が出ていました。

実践や仕事に悩んだり、迷った時にもう一度基本に帰らしてくれる存在がこの障がい部ハンドブックです。

## 大軍拡・大増税NO北区連絡会は、

### 地域で平和の取り組みをしています！

### 3・29 ピースパレードに参加しました！



テレビや新聞を見るにつけ、アメリカによるイランへの攻撃、ロシアによるウクライナ侵攻から4年、未だに平和にほど遠いガザの状況など、「世界で起きている戦争をすぐにでも止めたい！」、みなさんそんな思いをお持ちではないでしょうか。



3月29日、地域の他団体のみならずと「大軍拡・大増税NO！北区連絡会」主催の取り組みでピースパレードを行いました。今年は桜の花満開の下、黒川御用水を、平和を訴えながら歩くことができました。

思い思いのプラカードを持ちながら、子どもからお年寄りまでたくさんの人の中、多くの人にコールしました。

住宅の窓から手を振ってく

さることもありました。瑠璃光橋では、総勢60名で、平和を訴えました。この地域から、戦争STOP！の声を広く大きくしてまいりましょう！

### 大曽根駅前・黒川交差点で

### 毎月1回の街頭宣伝行動

大軍拡・大増税NO！北区連絡会は、毎月第4水曜日の17:30



18:15で、大曽根駅前又は黒川交差点にて、街頭宣伝行動を行っています。

名北福祉会からは、各園・事業所から順番に参加しています。集まった一人ひとりが弁士になって、自分の言葉で書いた原稿を手に、平和への思いを市民に訴えかけています。

福祉職場で働く私たちは、子どもたち・障害のある人・高齢者のみなさんのことや物価高で困っている地域の状況を日々感じています。

戦争の準備ではなく、今こそ平和の準備が必要との思いも募らせてきました。

「平和なくして福祉なし」「平和こそ最大の社会福祉」「税金は私たち市民のために使って！」などなど、声をあげることが平和への一歩です。市民のみなさんの前でお話することは、とても緊張しますが、「何の宣伝ですか」と通りすがりの方が参加したり、高校生が声をかけてくれたりするのも、宣伝行動の醍醐味です。あなたも一緒に平和の思いを訴えてみませんか？





めいほく友の家



めいほく共同作業所



めいほくホームあさひ



友の家ホームにほ



第二めいほく保育園



友の家ホームいっぽ



めいほく共同作業所分場



町北ホームゆうやけ



のびっこ



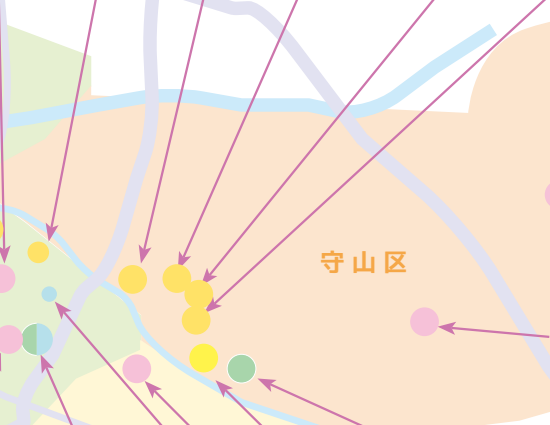
わくわく安井の家



のびのびクラブ



めいほく鳩岡の家



めだか保育園  
子育て支援拠点事業めだかひろば



西部医療センターくさのみ保育所



なえしろ保育園  
子育て支援センターなえしろ



相談支援センターめいほく  
ヘルパーステーションそら

めいほくホーム大和・大夢



グループホームめいほく  
めいほくの家

名北福祉会本部  
おたすけくらぶ



デイサービス町南



めいほく町南の家



ケアプラン町南



カフェ茶食ぼちぼち

地域交流センター  
ふらっとるーむ



東町交流センター



めいほくつぼみ保育室



めいほく保育園  
子育て支援センターめいほく



やだ保育園  
子育て支援拠点事業やだっこひろば

名北福祉会 本部	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-52-2 TEL : 052-911-1627	FAX : 052-911-1430
第二めいほく保育園	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 1-12-2 TEL : 052-914-9554	FAX : 052-914-9567
なえしろ保育園	〒 463-0042	名古屋市守山区野萩町 2-61 TEL : 052-793-7546	FAX : 052-793-7547
めだか保育園	〒 463-0027	名古屋市守山区弁天が丘 1106 TEL : 052-798-7077	FAX : 052-798-7066
やだ保育園	〒 461-0040	名古屋市東区矢田三丁目 3-44 TEL : 052-768-6510	FAX : 052-768-6810
西部医療センターくさのみ保育所	〒 462-0057	名古屋市北区平手町 1-1-1 TEL : 052-915-3106	FAX : 052-915-3106
めいほくつぼみ保育室	〒 462-0807	名古屋市北区御成通 3-20-4 TEL : 052-991-1646	FAX : 052-325-2266
めいほく共同作業所	〒 462-0802	名古屋市北区上飯田北町 4-39 TEL : 052-916-4470	FAX : 052-916-4472
わくわく安井の家	〒 462-0023	名古屋市北区安井 4-12-7 TEL : 052-934-7461	FAX : 052-934-7462
めいほく友の家	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-124 TEL : 052-902-7707	FAX : 052-902-7717
めいほく鳩岡の家	〒 462-0025	名古屋市北区鳩岡町 1-1-5 TEL : 052-911-0055	FAX : 052-911-1155
友の家ホームいっば	〒 462-0065	名古屋市北区喜惣治 1-384-1 TEL : 052-982-7681	FAX : 052-982-7682
友の家ホームには	〒 462-0007	名古屋市北区如意 2-123 TEL : 052-908-6850	FAX : 052-908-6851
めいほくホーム大和	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL : 052-911-2515	FAX : 052-911-2515
めいほくホーム大夢	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 4-71 TEL : 052-916-7008	FAX : 052-916-7008
めいほくホームあさひ	〒 463-0070	名古屋市守山区新守山 2205 TEL : 052-799-5070	FAX : 052-799-5071
町北ホーム ゆうやけ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 15-10 TEL : 052-715-5533	FAX : 052-715-5534
のびのびクラブ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-21 TEL : 052-791-7011	FAX : 052-739-7845
のびっこ	〒 463-0074	名古屋市守山区町北 5-2 TEL : 052-715-3680	FAX : 052-715-3681
相談支援センターめいほく	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL : 052-911-1600	FAX : 052-325-6222
ヘルパーステーションそら	〒 462-0865	名古屋市北区下飯田町 2-14-3 TEL : 052-910-0712	FAX : 052-325-6222
ケアプラン町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 1-1 TEL : 052-795-7571	FAX : 052-726-6750
デイサービス町南	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL : 052-795-3186	FAX : 052-799-3666
めいほく町南の家	〒 463-0066	名古屋市守山区町南 19-27 TEL : 052-778-7168	FAX : 052-799-3666
めいほくの家	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-917-4152	FAX : 052-910-0713
グループホームめいほく	〒 463-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-508-7150	FAX : 052-910-0713
カフェ茶食ぼちぼち	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-911-5188	
地域交流スペースふらっとるーむ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
おたすけクラブ	〒 462-0804	名古屋市北区上飯田南町 5-53 TEL : 052-910-3066	FAX : 052-912-5188
東町交流センター	〒 462-0803	名古屋市北区上飯田東町 1-10-1	

## 夏休み福祉職場体験 今年もやります！

福祉の仕事ってどんなことをしているの？

保育・障がい・高齢の仕事を体験しよう



対象：中学生・高校生



期間：8/1～8/31(8/10～8/15を除く)

詳しくは 福祉会本部 (052-910-3066) まで

### 名北福祉会を支える会の会員募集 夢のある豊かなまちを共に作りましょう！！

「平和で豊かな住みよい街づくりをすすめ、福祉の充実をめざします」に賛同する人たちの力で、法人が進めている事業や「みんなの夢」をかなえるための施設づくりを応援しています。

会員には、正会員と賛助会員、団体会員があります。	〈振込先〉
会費 正会員 1ヶ月 1口 500円(何口でも)	郵便振替口座
賛助会員 1ヶ年 1口 1000円	加入者名 社会福祉法人名北福祉会を支える会
団体会員 1ヶ年 1口 5000円	口座番号 00860-8-127322

名北福祉会では  
各園・事業所で  
正規職員を  
募集しています  
ぜひご応募ください

#### ◆募集業種

保育士・生活支援員等・介護支援専門員(ケアマネージャー)

◇応募から採用まで

①書類選考 ②実習・実地体験 ③レポート提出 ④面接

◇お申込み・お問い合わせ

社会福祉法人名北福祉会 人事担当 TEL052-910-3066

#### カフェ茶食 ぼちぼち

地域の中で“みんなが集う場所”として茶食ぼちぼちをよろしくお願ひします。みなさんのお越しをお待ちしています。

〈営業日・時間〉

月曜日～金曜日⇒7:30～15:30 モーニング(7:30～11:00)

土曜日・祝日⇒8:30～15:30 モーニング(8:30～11:00)

ランチ月曜日から土曜日・祝日⇒(11:30～14:00)

\*金曜日夜の居酒屋ぼちぼち、麻雀や歌声喫茶、認知症カフェなどもやっています。

場所：みなみ町福祉センター1階 電話：052-911-5188

